

①住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後のサポート事業

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応の実施 入居支援の実施 入居者及び所有者フォロー対応 サポート部会・住宅管理部会の開催(計2回) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談件数87件 (入居相談58件・建物相談15件・その他14件) 契約件数 1件 (子育て世帯1件) 協議会を通して契約をした11組の入居者と空き家所有者に対し、家賃の支払い、生活状況、建物の不具合等の定期的な確認及び支援を行った。 相談事例を通して、住宅確保要配慮者の課題整理と必要な支援体制について検討を行った。
---	---

②居住支援協議会事業のあり方及び入居促進策の検討

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住支援協議会のあり方検討に関する調査研究の実施 福山平成大学福祉健康学部福祉学科と連携し、全国39の市区町居住支援協議会を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。 住みよかネット掲載充実に向けた検討の実施 ①掲載方法に関する協議の実施 ②住みよかネット施設版更新手順パンフレットの作成 企画情報部会の開催(計2回) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 25件のアンケート回答(回収率64.1%)があり、そのうち5協議会へヒアリング調査を行った。 その結果、住宅確保要配慮者が入居できる環境を整えるためには、居住支援法人等との連携の必要性が見えてきた。 住宅確保要配慮者が必要な情報に基づき適切な選択ができる環境の実現に向けた検討を実施し、住みよかネット施設版更新手順パンフレットの作成を行った。 事業計画を具現化するため、事務局と居住支援協議会参加団体により構成した実務者メンバーにより検討及び情報共有を行った。
---	--



③住まい情報の提供及び協議会活動等の周知

(概要)

- フェイスブック及びホームページの更新(随時)
- 『住みよかネット』掲載情報の充実

- 無料相談会の実施

日時:①令和元年8月11日(日)

10:00～12:00

②令和2年1月19日(日)

10:00～12:00

会場:①総合福祉センター

②労働福祉会館

相談件数:①15件・②12件

主な相談内容

①の内訳…処分8件・活用7件

②の内訳…処分9件・活用1件・管理2件

- セミナーの開催

日時:令和元年12月21日(土)

13:30～16:00

会場:イオンホール

テーマ:住まいと住まい方(暮らし)を考える

セミナーin おおむた

～空き家の可能性を探る～

参加者:40名

(一般市民、行政、福祉・不動産関係者等)

- 地域向けモデル事業の実施

(成果)

- 居住支援協議会の団体紹介、活動内容・設立目的、定期的な活動状況を随時発信した。
- 所有者から提供を受けた空き家情報の掲載や高齢者向け住まいに関する情報更新の呼びかけを行い、住宅確保要配慮者に対する住まいの情報発信を行った。
新規空き家情報掲載件数:3件
- 空き家所有者からの相談対応を行い、2件の空き家提供に繋がった。



- 医療・介護の専門職と連携し「誰もが集える」地域の交流拠点として平成29年度にオープンした空き家(名称:みんなの家リクシス)の活用を進めるため、定例会議へ参加するなど、支援を行った。